

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	文学研究科
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。
要素	教員に求める能力・資質等の明確化 教員構成の明確化 教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置（院・専院）
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント（FD）の実施状況と有効性

○2009年度からの目標

1. 優秀な助教を大学院教員として採用し、准教授で特に優れた専門知識及び指導能力があると認められた教員は博士課程前期課程の指導教員に任用する。
2. 後期課程指導教員についても上記「基準」に基づき、優秀な准教授の任用を積極的に行う。
3. 新任および昇任人事審議基準の定期的な見直しを継続する。
4. 学界におけるリーダーの役割を果たせる専任教員・研究者像を強化する。
5. FDプログラムの定期的な実施を継続し、FD参加者数を増やす。

○指標

1. 大学院教員全体に占める助教の任用数（および率）と准教授の前期課程指導教員の任用数と任用率。
2. 准教授の後期課程指導教員の任用数と任用率。
3. 人事案件ごとの業績の開示実績。
4. 外部資金申請数、採択数（率）、受託研究、学会役員数、受賞者数。
5. FDプログラムの教員参加数とFDの有効性について教員からのフィードバックの度合い。